

令和4（2022）年
観光客の動向等に係る調査の結果について

令和4（2022）年の京都市における観光客^{※1}の動向等について、調査結果を取りまとめましたので、お知らせします。

本調査は、例年発表している「京都観光総合調査」について、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、観光客への面接調査等を可能な範囲で実施したものです。

なお、観光消費額及び経済波及効果については、令和2年、令和3年と同様、全国統一基準に基づく数値は算出できませんでしたが、コロナ禍が京都観光に与えた影響を概観するため、令和4年の観光消費額及び経済波及効果を本市で独自に推計しました（詳細は、添付資料を御覧ください。）。

※1 観光客とは、観光目的だけでなく、ビジネス、買物、イベント、観劇、スポーツ、友人・知人訪問等の目的で入浴した人を指し、市外在住で通勤、通学以外の目的で入浴した人全てを含みます。

（主な調査結果）

区分（実人数）	令和4年	令和3年	令和元年
観光客数	4,361万人	2,102万人 (- ^{※2})	5,352万人 (▲18.5%)
観光消費額	1兆179億円 ^{※2}	4,457億円 (- ^{※2})	1兆2,367億円 —
経済波及効果	1兆1,040億円 ^{※2}	4,885億円 (- ^{※2})	1兆3,569億円 —
宿泊客数	969万0千人	516万8千人 (+87.5%)	1,316万6千人 (▲26.4%)
日本人宿泊客数	911万4千人	511万4千人 (+78.2%)	936万7千人 (▲2.7%)
外国人宿泊客数 ^{※3}	57万6千人	5万4千人 (+966.7%)	379万9千人 (▲84.8%)
修学旅行生数	74万3千人	24万6千人 (+202.0%)	70万4千人 (+5.5%)

※2 表記に「細字」で記載している、令和3年の観光客数、令和4年、令和3年の観光消費額及び経済波及効果は、本市独自推計値であり、他の年との時系列による比較はできません。

※3 外国人宿泊客数には日本在住の外国人も含みます。